OpenAIの科学的成果発表と学術界の動向（2026年10月調査）

発表された3成果と分野別の公開戦略



分野ごとに分かれた
資料公開・検証アプローチ



数学
(Mathematics)
カケヤ予想の進歩を主張。

論文・Lean証明公開



計算機科学
(Computer Science)
指数時間仮説の反証
指数時間仮説の反証を主張。

論文・Lean証明公開



物理学
(Physics)
ヤン–ミルズ/QCD存在証明
ヤン–ミルズ/QCD存在証明を主張。

資料非公開（検証遅延）

学術コミュニティの評価と主な批判点



「シェパード指名」に伴う情報の非対称性
特定研究者への早期アクセス付与が、独立諮問グループ（AGMAI）の勧告と衝突。



「シェパード指名」に伴う
情報の非対称性とアクセス不平等



物理資料の非公開とLean形式化の「忠実性」問題
検証不能な物理成果への批判に加え、Leanコードが元の予想を正しく表しているかの懸念が存在。

Gemini Notebook